

子どももの靴選び慎重に

大きめは1センチまで

成長するたび、すぐにサイズが合わなくなる子どもの靴。つい、大きめの物や、脱ぎ履きが簡単な物を手に取ってしまうが、実は靴選びはとても大事だ。靴選びを手伝う専門家が誕生、心強い味方も増えてきた。

「甲が高くて幅が広いね！ きっと大きくなるね」。横浜市の京急百貨店。子ども専門のシューフィッター、中村和歌さんが、2歳の高橋一平君に話しかけていた。足を専用の器具で測り、何足も試してみる。「走ってみて」と言われて、高橋君は元気に駆けだした。「一平君は、足にあった靴をずっと履いているので足の指もまっ



シューフィッター、中村和歌さん。子ども専門のシューフィッター、中村和歌さん。市京急百貨店

専門シューフィッター誕生

「甲が高くて幅が広いね！ きっと大きくなるね」と中村さんはうれしそう。もともと靴選びをアドバイスするシューフィッターの資格を持っていた中村さんだが、このほど子ども専門の資格もできたため、習得した。「子どもの足は一人一人違う。自分にあった靴を履くのが大切です」

すべ。土踏まずもできてきました」と中村さんはうれしそう。もともと靴選びをアドバイスするシューフィッターの資格を持っていた中村さんだが、このほど子ども専門の資格もできたため、習得した。「子どもの足は一人一人違う。自分にあった靴を履くのが大切です」

っと入る靴は、ひもや面ファスナーがないため足に合うよう調節できない。注意が必要だ。また「すべきつくくなるから」と大きめの靴を買う人が多いが、「余裕はつま先部分に1センチまでに」と侯野さん。大きすぎる靴を履くと転びやすくなるし、ルーズに履くと足が靴の中で動いて前につかり、指が曲がる原因にもなるという。

自分で選ぶときには、必ずサイズを測ってもらって試着し、①指先がぶつからないか②かかとが脱げないか③歩いたり走ったりしたときに大丈夫か、を確認しよう。今回、協議会が初めて認定した子ども専門のシューフィッターは全国に40人。今後も毎年育成するところ。侯野さんは「きちんとかかとを合わせて良い靴を履けば、姿勢も良くなる。日本中の子どもたちの足がのびのび育てほしいな」と思っています。話を聞いた。

子ども靴売り場で足のサイズを測る。横浜市の京急百貨店



協議会によると、良い靴のポイントは六つ。①かかとをぐるむ部分がしっかりとしている②つま先部分が足と同じ形（子どもの多くは扇形）をしていて厚みもある③指の付け根部分がよく曲がる④底がしなやかで弾力性がある⑤ひもや面ファスナーでしっかりとまる⑥汗などを吸う、ことだ。脱ぎ履きが楽な、足がすぼ

認定した子ども専門のシューフィッターは全国に40人。今後も毎年育成するところ。侯野さんは「きちんとかかとを合わせて良い靴を履けば、姿勢も良くなる。日本中の子どもたちの足がのびのび育てほしいな」と思っています。話を聞いた。



じっとしていられない子どもの足を測る計測器(フットゲージ)と子ども靴。東京都台東区の「足と靴と健康協議会」



足の大きさや形は一人一人みな違う。横浜市の京急百貨店